



中山廣子 議員
(公明党)

問 おくやみコーナーなどの設置

家族や身近な方を亡くされた方や、その情報が必要な方が、いつでも手にできるように、遺族に寄り添った「おくやみハンドブック」を作成し、窓口を設置してはいかがか。そして煩雑な手続きをワンストップで担う「おくやみコーナー」を設置してはいかがか。

答 おくやみハンドブックの作成を進める

「おくやみハンドブック」の作成を進め、作成後はパンフレットスタンド等に設置する。また、「おくやみコーナー」については、手続きが多岐にわたるため業務分担の整理や、人員配置、設置場所、システム改修など課題も多く現状では難しい状況である。

問 子ども連れの方に親しまれる庁舎づくり

市民から親しまれる庁舎づくりや利便性の向上を図る取り組みは大変に重要だと考える。子育てがしやすい白岡市を目指し、子どもと一緒に市役所に来庁された方が休息や窓口の待ち時間に子どもと共に利用することができる、キッズコーナーを設置してはいかがか。

答 早期の実現に向け検討する

キッズコーナーの設置については、子ども連れで市役所に来庁された方が手続等の待ち時間の際に、子どもが安全に楽しく利用できる場所として、また、親同士の交流の場として期待できる。市民の利便性の向上のため、早期実現に向け検討する。



石原富子 議員
(TSUNAGU)

問 コロナ対策について

市民は新しい生活様式を取り入れ、感染拡大を防いでいるが、市民への注意喚起や情報提供を更に工夫してもらいたい。また高齢者は重症化するリスクが高いことから、介護施設との連携・情報共有が重要である。間もなく始まるワクチン接種の準備と課題は何か。

答 感染拡大防止に努めていく

感染拡大防止のために様々な媒体や機会を捉えて市民に注意喚起し、また分かりやすい情報提供に努める。ワクチン接種については、ワクチン供給の見通しが不透明であり国のスケジュールが流動的であるが、確実に接種できる体制を構築していく。

問 新規採用職員の採用と研修は

新規採用職員が早期離職をしてしまうケースがあるとのこと。これまでの採用状況と、採用試験はどのようにしているのか。また、新しい取り組みとして、違う課の先輩がメンタル面で相談にのる、「メンター制度」を導入して、新人の定着を図ってはどうか。

答 「メンター制度」の構築を進めていく

新規採用職員は、社会人経験者を含め年齢層は幅広く、筆記、作文及び面接試験を経て採用となる。職場環境に不安を抱く新規採用職員にとって、相談しやすい環境を整備するため、「メンター制度」の構築を図り、職場環境に円滑に適應できる支援を行う。

